

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
精神看護学概論	1単位(30)	1年次9月	外部講師	あり (精神保健福祉士)
			専任教員	あり(看護師)

科目目標

- 1 精神看護、精神の健康について基本的な考え方を理解する。
- 2 成長発達、生活の場における危機状況と援助を理解する。
- 3 精神保健活動の展開と課題を理解する。
- 4 精神の歴史・保健・医療・福祉・看護の課題を理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 精神看護とは (1) 精神看護と精神科看護 (2)看護の目的・対象 2 社会環境の変化と社会病理	講義	専任教員
2回	3 精神(心)とは 4 精神の健康 (1)精神の健康とその考え方 (2)精神の不健康、障害の考え方	講義	
3回	5 発達理論 (1)エリクソンの心理社会的発達理論・フロイト 自我の発達段階	講義	
4回	6 精神の機能と発達 (1)心のしくみと人格の発達 (2)自我の機能 (3)防衛機制 (4)精神力動 (5)集団力動 (6)転移感情	講義	
5回	7 危機 (1)危機の概念 (2)危機の種類①成熟的危機 ②状況的危機(偶発的危機・社会的危機) (人看護学の既習学習を踏まえ精神領域での危機を考える)	講義	
6回	8 危機介入 各発達段階における危機と予防 9 ストレスと対処 10 精神保健に関わる法律 (1)自殺対策基本法	講義	
7回	11 看護という職業と看護師のメンタルヘルス (1)職場環境 (2)感情労働としての看護 (3)リアリティショックと燃え尽き症候群 (4)ストレスマネジメント	講義	
8回	12 精神保健・医療・福祉・看護の歴史 (1)諸外国における精神医療の歴史 (2)日本における精神科医療の歴史	講義	
9回 10回	13 精神保健医療福祉における看護師の役割 14 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (1)基本的な考え方 (2)精神障がい者とは (3)精神保健指定医 (4)医療及び保護を目的とする行動の制限 ①信書の発受・面会 ②行動制限(隔離) (5)入院の形態 (6)精神保健福祉センター 15 心身喪失者の等医療観察法	講義	
11回	16 現代の精神保健・医療 17 精神保健・医療の現状 (1)偏見・差別・スティグマ (2)入院患者数・入院期間 (3)施設症 18 精神保健の考え方 (1)カプランの第1次～第3次予防 (2)心のバリアフリー宣言	講義	
12回	19 災害時の精神保健医療活動と精神保健初期対応 20 災害時の精神障害者への治療継続援助	講義	
13回	21 リエゾン精神看護とは 22 リエゾン精神看護で用いる技法 (1)支持的面接 (2)ホリスティックケア (3)リラクゼーション (4)患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	講義	
14回	24 精神医療における今後の課題 (1)社会復帰に向けた現状と課題	講義	
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学①精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学②精神看護の展開 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
精神看護の基本技術	1単位(15)	2年次4月	外部講師	あり(専門看護師・看護師)
			専任教員	あり(看護師)

科目目標

- 1 患者－看護師関係成立発展について理解する。
- 2 精神の健康の保持・増進・回復の援助方法を理解する。
- 3 自己洞察の意義を理解し、再構成を用いて自己洞察する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 ペプローの人間関係論 (1)看護とは (2)患者－看護師関係の4つの局面 (3)看護の役割	講義	専任教員
2回	2 精神症状のある対象へのコミュニケーション技術 (1)援助関係の構築 援助関係の構築 ①人としての尊厳を尊重する ②互いの境界を守る ③応答性を保つ ④現実検討をする (2)患者看護師関係の発展と終結 (3)自己一致・自己開示・自己活用 患者看護師関係の発展と終結 3 看護師と患者とに生じる感情 (1)転移感情とは ①転移・逆転移 ②陽性・陰性の転移 ③転移感情への対応	講義	
3回	4 看護師の自己一致した関わり (1)自己理解・自己活用とは (2)自己理解・自己活用を促す技法 (3)患者－看護師関係の発展 ①再構成・プロセスレコード ②自己洞察(フォーカシング) (4)再構成法 ①再構成の目的 ②再構成の種類 ペプロー・オーランド・ウィーデンバック (5)再構成の実際	講義	
4回	5 精神に障がいを持つ人とのコミュニケーション	校内実習	
5回	6 再構成	演習	専任教員
6回	7 精神の健康増進・回復の援助方法 (1)SST(社会生活技能訓練)の理論と実際 ①ストレス 脆弱性－対処技能モデル ②SSTの目的・対象 ③SSTの種類 ・基本訓練モデル ・問題解決技能訓練 ・モジュールを用いた訓練 ④SSTの実際	講義	外部講師 (専門看護師)
7回	(2)心理教育 ①心理教育の目的・対象 ②情報提供と問題解決セッション ③心理教育の実際	演習	
8回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学①精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学②精神看護の展開 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
精神に障がいをもつ人の理解	1単位(30)	2年次4月	外部講師	あり(医師・看護師 精神保健福祉士)
			専任教員	あり(看護師)

科目目標

1. 精神に障がいをもつ人の特徴および治療を理解する。
2. 精神に障がいをもつ人の看護の基本を理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 脳と精神機能・精神症状 (1)脳の活動部位と精神機能 (2)神経伝達物質と精神機能・薬理作用 (3)ストレス脆弱性仮説 (4)脳と免疫機能 (ストレス反応)	講義	外部講師 (医師)
2回	2 精神障害の診断・検査・治療学 (1)精神障害の分類 ( ICD-10 DSM-IV(V) ) (2)検査 ( 脳波検査・脳の画像検査・心理検査 ) (3)治療 (薬物療法 電気痙攣療法 精神療法 リハビリテーション療法)	講義	
3回	3 主な疾患の特徴・症状・経過・治療 (1)統合失調症	講義	
4回	(2)気分障害	講義	
5回	(3)神経性障害・摂食障害 ①パニック障害②PTSD③適応障害	講義	
6回	(4)睡眠障害 (5)せん妄 (6)パーソナリティ障害 (7)習慣・衝動の障害、性同一性障害	講義	
7回	(7)物質依存 (8)発達障害	講義	
8回	4 神科における行動の制限 5 患者の人権擁護 6 リスクマネジメント	講義	
9回 10回	7 社会復帰・社会参加の基本 8 保健医療に関する資源の活用と調整 9 福祉に関する資源の活用と調整 10 人的資源の活用と調整	講義	外部講師 (看護師) (精神保健福祉士)
11回 12回	11 生きる力と強さに着目した援助 (1)ストレングス(強み・力) (2)リカバリ(回復) (3)エンパワメント (4)レジリエンス	講義	専任教員
13回	12 家族の理解とその援助 (1)家族のストレスと健康状態のアセスメント (2)家族の対処力とソーシャルサポートのアセスメント (3)家族システムのアセスメント (4)家族への教育的介入と支援 (5)患者-家族関係	講義	
14回	13 セルフケア理論 (オレムアンダーウッド) (1)セルフケア・エンパワメント (2)セルフケア要素 (3)観察のポイント (4)ケアレベルと援助方法	講義	
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学①精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学②精神看護の展開 医学書院		

科目名	単位数(時間数)	開講時期	担当講師	実務経験
精神に障害を持つ人の生活と看護	1単位(30)	2年次6月	専任教員	あり(看護師)

科目目標

- 1 精神に障がいをもつ人の生活の特徴を理解する。
- 2 精神に障がいをもつ人と家族の看護を理解する。
- 3 統合失調症をもつ人の特徴にあわせた看護過程の展開を理解する。

授業回数	授業計画	授業方法	講師
1回	1 統合失調症をもつ人の生活と看護 (1)精神身体症状・セルフケアアセスメント (2)経過に応じた関わり ①急性期～回復期(社会復帰準備期) ②社会生活維持期～慢性期	講義	専任教員
2回	(3)主な精神症状と看護 ①幻覚妄想状態 ②昏迷状態 ③拒絶症状(拒食・拒薬) ④意欲減退 (4)家族への援助		
3回	2 神経性障害をもつ人の生活と看護 (1)不安と看護 (2)強迫観念・強迫行為と看護 (3)家族への援助	講義	
4回	3 精神科における主な治療時の看護 (1)薬物療法 (2)日常生活場面における認知行動療法の活用 (3)作業療法・レクリエーション療法と看護	講義	
5回	4 性同一性障害をもつ人の生活と看護 5 気分障害をもつ人の生活と看護 (1)躁状態にある人の生活と看護 ①精神身体症状とセルフケア②経過に応じた関わり ③家族への援助	講義	
6回	(2)うつ状態にある人の生活と看護 ①精神身体症状とセルフケア②経過に応じた関わり ③家族への援助		
7回	6 アルコール依存をもつ人の生活と看護(薬物などの物質依存を含む) (1)離脱症状と看護 (2)リハビリテーションと看護 (3)家族への援助	講義	
8回	7 てんかんをもつ人の生活と看護 (1)てんかん発作と看護 (2)家族への援助 (3)電気けいれん療法	講義	
9回	8 境界型パーソナリティ障害をもつ人の生活と看護 (1)成長発達的特徴 (2)操作・試し行為のある人の生活と看護 9 摂食障害をもつ人の生活と看護 (1)成長発達的特徴 (2)摂食障害と看護	講義	
10回	10 成人の習慣・衝動の障害(病的賭博・窃盗・放火・抜毛)		
11回	11 発達障害をもつ人の生活と看護 (1)精神身体症状・セルフケアアセスメント (2)看護介入 (3)家族への援助	演習	
12回	12 看護過程(統合失調症をもつ人の事例展開) (1)ICFの視点に基づいた看護過程の展開 ①希望を実現するために患者と共に取り組むべき課題		
13回	②生活機能(心身機能・活動・参加) 背景因子(個人・環境)の現状と対象の強み		
14回	③期待される結果 ④看護計画の立案 ⑤経過記録(SOAP)		
15回	修了認定試験:筆記試験 100点 60点以上を合格とする。(修了認定等に関する規定第4条参照)	筆記試験(1h) 自己学習時間(1h)	
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学①精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ精神看護学②精神看護の展開 医学書院		